

令和元年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」明治中学校区実践計画書

事務局：明治中学校（教頭・永井齊孝）

1 主題（14年次）

『学習習慣を身につけさせるための小・中連携はどうあればよいか』

2 主題設定の理由

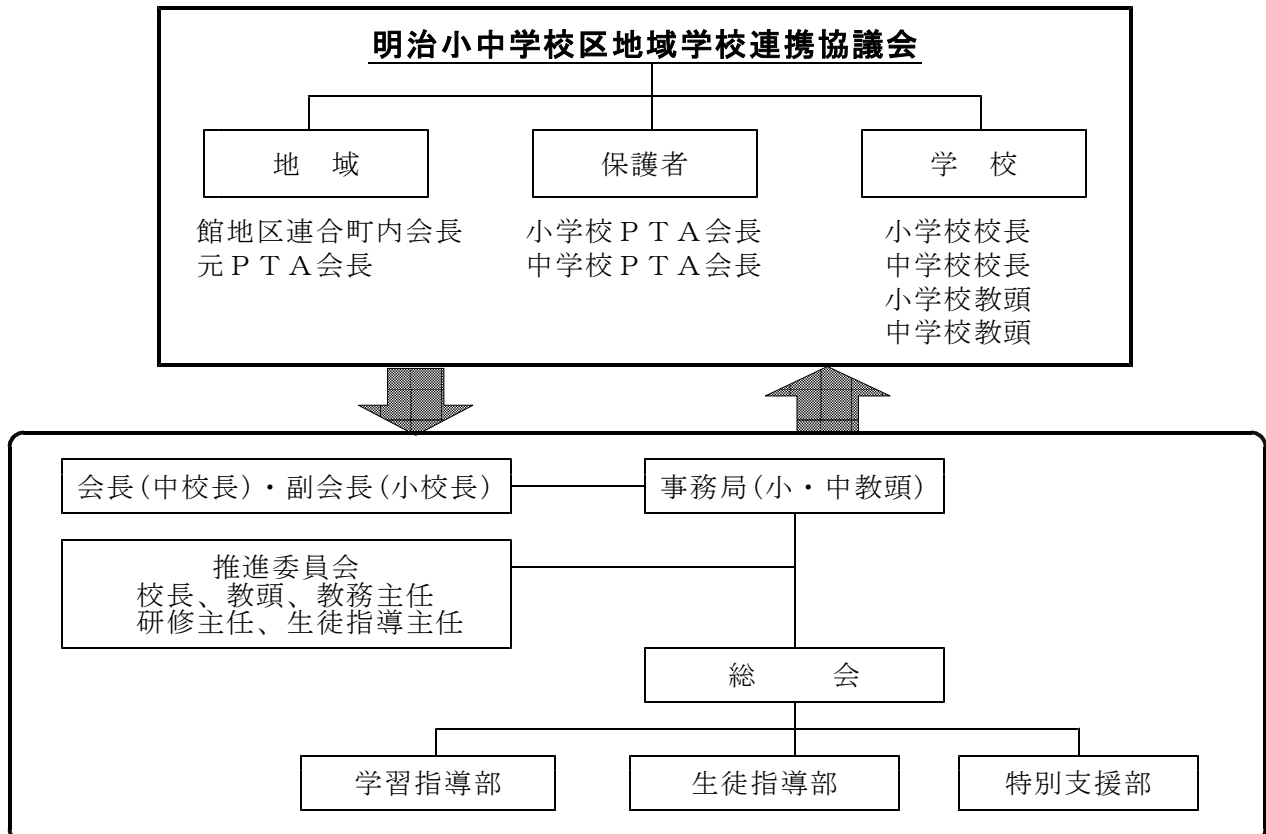
本学区の児童生徒の実態は、「明るく素直で、教師の指導をよく受け入れる」「気持ちが優しく他を思いやる心がある」などの反面、「他からの刺激が少なく、狭い人間関係の中で満足している」「競争心に薄く、何事に対してもほどほどの結果で満足している」「自ら気づきやろうとせず、指示を待っている」「もっと努力や苦勞をして向上しようという意欲が不足している」「理解力は低くないものの、家庭学習の習慣が十分に定着していないことから学力が伸び悩んでいる」などがあげられる。これからの社会は、新しい課題に対して意欲的に自ら考え課題解決の方策を見つけていくような「生きる力」が重要になってくる。

そこで、本校学区では、この生きる力の要素の1つである「確かな学力」を育むことが小中両校の重要な課題であると考え。そのために、教師は自らの指導力の向上を図るとともに、子どもたちの発達段階を踏まえた魅力ある授業を実践し、基礎学力の向上及び自ら学び考える力を育てる必要がある。同時に、学習習慣づくりには家庭の教育力も欠かすことはできない。

望ましい生活習慣の形成、円満な人間関係のある家庭生活、現実を見つめながらも将来の展望を語り合う家族など、保護者の子育てへの意識を啓蒙しながら、子どもたちに夢や希望をもたせ、意欲や向上心を抱かせる指導が必要である。

今年度も引き続き、①学習意欲の向上や学習習慣の確立を図る取り組みの実践と改善、②6年生の児童・保護者・小学校の先生方へ、中学校の授業参観及び中学校生活についての紹介、③中学校の先生方全員による小学校の授業参観、④小中合同あいさつ運動の継続、⑤小学生の部活動体験、⑥キャリア教育を意識した教育活動に取り組む。また、小・中学校に共通のスクールカウンセラーが配置されているので、⑦スクールカウンセラーを講師に両校の教職員が一緒に研修を行うの7点に取り組んでいきたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



<各部の実践内容>

- 学習指導部
 - ① 「家庭学習のやくそく」の活用と見直し（勉強時間の目安）
 - ② 授業参観を通しての交流
 - ③ N R T 検査結果の情報交換（と分析の共有）
- 生徒指導部
 - ① 合同あいさつ運動
 - ② 小学生の部活動体験や壮行式への参加
 - ③ 規律面における指導の共通理解 SNS：中生徒総会→小中情報共有
 - ④ スクールカウンセラーによる事例研修などを通しての共通理解
- 特別支援部
 - ① 学校生活、学習などについて情報交換と共有

4 中学校区の重点指導事項

明治中学校区 重点指導項目
学習面・・・学習習慣の確立を図る （計画の習慣づけ・自学ノートの内容等の指導）
生徒指導面・・・気持ちのよいあいさつができる

5 ジョイントスクール年間事業計画

月	日	内 容	場 所
4	3	J S 推進事業会議①（事業計画等の検討）	中学校
4	2 2	小中合同あいさつ運動① 4/22(月)~4/25(木)	センター・このみ前
4	2 4	J S 総会①（小中職員顔合わせ、今年度の事業の進め方の確認）	中学校
6	1 3	市中体夏季大会壮行式での合同応援（6年生）	中学校
8	1 9	J S 情報交換会（午後）	小学校
8	2 5	館地区学区民体育祭	中学校
8	2 7	小中合同あいさつ運動② 8/27(火)~8/29(木)	センター・このみ前
9	2 9	館地区総合防災訓練（午前）	小学校
1 0	3	小学校6年生の部活動体験(午後)	中学校
1	9	J S 総会②及び推進事業会議②(まとめ・反省と次年度の取り組み) 教育相談による連携（S C 講話）	中学校
2	3	明治中令和2年度新入生保護者説明会と兼ねた授業参観日 (5校時：小6児童とその保護者、小学校の先生方による授業参観、6校時：中学校生活の紹介 その後にPTAの委員会所属決定)	中学校
3	2 3	6年生の情報交換	中学校
		その他 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー講話（今年度も実施） ・各部会 → 必要に応じて随時開催 ・6年生の1日入学及び中学校入学前のテストはなし。 小学校で実施したC R Tの結果を中学校へ送付。 ・引き継ぎ資料を共有化する。 ・「実践計画書」提出 5月31日(金) ・「実践報告書」・・・地域密着型教育報告書に含む 	